

資料写真集を発行

諏訪市博物館(同市中洲)は、「諏訪市博物館収蔵『諏訪史』第一巻関連資料写真集」を発行了。諏訪の考古学史をまとめた「諏訪史」第一巻に掲載された、同館が所有する出土遺物や発掘調査の様子を撮影した当時のガラス乾板写真140枚を解説付きで掲載。内容に関連する、諏訪史には非掲載だった遺跡や遺物の写真、掲載遺物の現状写真なども加えた。

(山本雄太)



「諏訪市博物館収蔵『諏訪史』第一巻関連資料写真集」をPRする学芸員

「諏訪史」第一巻掲載140枚を解説 非掲載の遺跡や遺物も

諏訪市博物館

「諏訪史」第一巻は、信濃教育会諏訪部会(現諏訪教育会)が1924(大正13)年12月に発行。当時日本を代表する人類学・考古学者だった東京帝国大学講師の鳥居龍蔵(1870~1953年)を編著者に招き、地元の教員や考古学愛好家らが協力して綿密な考古学的調査を行い、約7年かけて完成させた。

同館は、諏訪地方にある他の考古館などと連携し、2月から3月にかけて「諏訪史」第一巻刊行100周年記念の特別展を開催。展示に合わせて写真集の製作を決めた。写真集に掲載したガラス乾板写真の整理、データ化には、同館の呼び掛けに応じた一般の20人も協力した。

写真集はA4判、全64ページ。ガラス乾板写真を1枚1枚デジタルデータ化して印刷した。「諏訪史」第一巻の巻頭を飾った霧ヶ峰高原にある「旧御射山遺跡」で鳥居ら調査員一行を映

した集合写真から始まり、遺跡発掘現場、きれいに並べた出土品などを収めた写真を掲載。諏訪史を完成させようと関係者が情熱を注いで調査を行った様子がうかがえる。

1冊1300円(税込み)。同館受付で販売している(郵送対応可)。編集を主に担当した同館学芸員の児玉利一さんは「写真集は第一巻に掲載されたものよりも鮮明に映っている。考古学に興味がある人には100年前との違いにも注目してほしい」と話している。

問い合わせは同館(電話0266・52・7080)へ。